生命彩る地域医療の実現に向けて

～飯南病院・総合医の10箇条～

飯南町の医療の中核を担っている飯南病院。
今年４月に飯南病院に赴任した角田耕紀院長に、飯南町の医療に必要なことをお聞きしました。

飯南病院院長の角田耕紀です。赴任から半年余りが経ちましたが、まだまだ分からないこと、学ぶことが多くあり、周りの皆さんに支えてもらいながらの毎日です。

この町の将来像を考えるにあたり、飯南病院という地域を担う病院を任された立場で、私の想いや、これから進めていきたいことについて話したいと思います。

私は、飯南病院に求められている医療には、左記の10項目があると考えています。

飯南病院にある診療科は限られています。耳鼻科や皮膚科、小児科の診療回数の増加などの要望も聞いています。院長として町民の皆さんの声をよく聞き、応えられるものには応えていこうと考えています。

ただ、その際には地域のニーズだけでなく地域全体を見渡し、必要性と優先度、将来的な予測、財政面なども考慮した上で、時代にあった判断をする必要もあります。

この地域に必要な医療体制を構築するためには、町民全体で意見を集約し現実的な議論をしていかなければなりません。

飯南病院は、将来の地域医療を支える人材の育成のために、島根大学、県中、日赤、松江市立病院の初期臨床研修協力施設となっています。

この病院で、地域医療の魅力やおもしろさ、やりがいを若い世代に伝え、何かを感じてもらえればと考えています。医学知識や地域医療を教えるということではなく、一緒に過ごして同じ体験を共有してどう感じるかということを大切にしています。

医学に関して少し先輩として、「背中を見て、何かを持って帰ってもらえたらな」という思いでいます。

飯南町には、保健・医療・福祉・介護の連携を図り、将来的には、教育、文化、産業等の分野との連携も視野において飯南町全体を元気にするための「飯南町生きがい村推進センター」という仕組みがあります。

この仕組みをさらに発展させ、実効性をもたせ、町民の皆さんが住み慣れた地域で、最後まで住み続けられるよう進化させていく必要があります。

私たち医療人は、医療に携わる者の覚悟をもって、また住民はこの地域の住人としての覚悟をもって、お互いを尊重しあいながら支えあえれば素晴らしいまちづくりができるのではないかと思います。

飯南病院・総合医の10箇条

1 なんでも診る

内科領域、整形領域にかかわらず病気や怪我を総合的に診察します。プライマリ・ケアという言葉があります。簡単に言うと「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」となりますが、飯南病院もそんな医療を提供したいと思っています。

2 気軽に診る

多くの町民の「かかりつけ医」の役目を果たしたいと考えています。日常的な診療や健康管理には、普段からのお付き合いが大切です。生活環境や現在飲んでいる薬などを含めた、総合的な治療を行います。

3 誰でも診る

子どもからお年寄りまであらゆる年代の方に、出来る範囲で対応します。急患は、原則全例受け入れることを院内の共通認識としています。必要であればドクターヘリを要請して規模の大きな医療機関へ搬送します。

4 いつでも診る

24時間・365日診療します。救急医療に対応できなくなれば、最寄りの2次・3次医療機関まで1時間以上かかる地域も出てきます。救急対応できる体制を維持することは飯南病院に求められる機能で最も重要な機能の一つだと考えています。

5 どこでも診る

病院・診療所・在宅・施設、場所を問わず診療します。

飯南町の高齢化率は、42％を超えています。訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーションなど、高齢化率の高い飯南町にとって、在宅で支援できる仕組みづくりはとても重要です。

医療スタッフが現場に出向いて対応する体制をより一層整備する必要があると考えています。

6 しっかり診る

医師は、地域の視点では、地域包括医療・ケアを実行するリーダーとしての役割があります。一方、医療の視点では、病院総合医としての役割や、より生活に近い「かかりつけ医」としての役割を担うことが求められています。

院内のスタッフが連携して心と魂のこもった医療サービスを提供していくことが重要であると考えています。

7 みんなで診る

飯南病院には医師・歯科医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・管理栄養士・リハビリセラピスト・歯科衛生士・病院管理部門など多くのスタッフがいます。

限られた職員数の中でよりよい医療サービスを提供するには、多職種が連携した「チーム医療」が重要です。そういう意味で言うと、町民の皆さんもチームの一員です。この地域の医療は、この地域みんなで作り上げていく必要があります。次世代にも継承していける質の高い医療体制を、一緒に考えていきたいと思います。

8 まわりも診る

受診された方だけでなく、その家族の方や、居住地域全体に目を向けます。健康問題は、本人だけでなく家族・地域など周囲の様々なことが影響して生じることがあります。また、治療においても周囲の方の協力が必要になることがよくあります。そのため医療機関だけでなく、病院の外にも出て行き、地域の健康増進にも関わりたいと考えています。

9 ずっと診る

人生の中の様々なライフステージを通じて診ます。日常の健康問題に対して各部門、各職種が連携し、それぞれの世代ニーズに合わせた医療の提供を病院全体で実践するという幅広い視野が必要です。

10 無理して診ない

受診された方のメリットが最大限になるような診療をします。専門的な検査や治療が必要な場合、飯南病院ですべてを対応することが、かえってデメリットになることがあってはいけません。中には、飯南病院では十分な対応ができないケースも当然あります。

そういった場合には、相談の上、高次医療機関の専門医と連携をしっかりとりながら紹介します。また、必要な検査や治療が終了した場合には、地元に戻ってきてもらい飯南病院で対応していくような連携をとっていきます。